

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和5年2月5日(日)
会	場	あいぱーく今立大ホール
出席議員		吉田啓三、橋本弥登志、土田信義、畑勝浩、清水一徳、桶谷耕一、大久保健一、川崎俊之、三田村輝士、大久保恵子、川崎悟司、前田修治
参加者(市民)		25名
開会挨拶・司会・記録		司会：清水一徳 議会報告：桶谷耕一 記録：畑勝浩
【1部】 12月定例会概要報告等 (報告者)桶谷耕一		<p>Q:指定管理制度の運用は良好だと説明を受けているが本当なのか。</p> <p>A:全体的な見直しの声があがってきている。よりよい施設管理になるように議会も努めている。また、成り行きを注視している。</p> <p>Q:高齢化が進む中、運転免許返納後の移動が心配である。公共交通機関を充実してもらえないか。</p> <p>A:坂口地区で始まった、オンデマンド交通実証実験の経過を参考に、議会としても意見を述べていく。</p> <p>Q:議会において、理事者側から先行きよさそうな答弁が多いのだが、実際に答弁通り取り組んでいるのか。また、議員は確認しているのか。</p> <p>A:議会での質問の後、結果を見るのも議員の仕事である。</p>
【2部】 意見交換会 (1班) 進行:川崎悟司 記録:土田信義		<p>1班</p> <p>Q:水道料金の基本料金の2か月分の減免について、要請があったから実施するのか。効果的な対策なのか。対象は全世帯なのか。</p> <p>A:水道は、多くの方が関わっている。市が直接、料金をいただいているので、減免が効率的にできる。電気料等になると、減免の金額だけでなく、手数料がかかる。全世帯、全事業所を対象としている。</p> <p>Q:各集落に女性の委員・役員がいない。各集落で女性の委員が生まれるよう配慮してほしい。議会も女性議員が3名から2名に減った。議員は、女性議員を出したいとの認識で活動してほしい。</p> <p>A:議会活性化委員会でも女性の議員を出したいと検討している。女性の活躍できる場を創出している。今後も女性議員が生まれるよう配慮したい。</p> <p>Q:山田市長は、高齢者の通いの場を充実すると言った。しかし、公民館は費用負担がある。冷暖房費もかかり、高齢者には負担感がある。利用者・受益者負担ばかりを言わず、介護予防、フレイル予防のため、高齢者が通いやすい場所にしてほしい。</p>

<p>(2班)</p> <p>進行:川崎俊之</p> <p>記録:畑勝浩</p>	<p>A:介護予防活動で、市は町内ごとに活動に応じて助成金を6万円から 18 万円出している。市は、公民館利用時に当たっては、この助成金を活用していただきたいとしている。ご指摘のように、公民館の使用料や冷暖房費の徴収は、公民館主事の手間もかかり、費用対効果も疑問である。公民館主事は、徴収や出納事務よりもっと大切な仕事がある。監査からの指摘で公民館使用料の見直しがなされ、受益者負担が強化された。再検討したい。</p> <p>Q: 最近設置した、福武線の家久駅前の融雪装置が稼働していない。県や市の縄張りを取り払って対応をお願いしたい。</p> <p>A:調べて回答する。</p> <p>Q:旧今立と旧武生をつなぐ道路に融雪が出来ているところがない。是非設置をお願いしたい。</p> <p>A:広い道路は、まず機械除雪で対応している。融雪道路も大切である。今後、議会としても検討していく。</p> <p>Q:議会と語る会の目的、何故開くのか。「市民の生の声を聴きたい。それを市政に生かす」だけでは、何か足りないのではないか。集まっているのは高齢者ばかりである。これでいいのか。</p> <p>コロナでできなかった事業を、こんな事業に切り替え実施したとか、わかりやすい説明が欲しい。</p> <p>市・自治振興会・区、それぞれの役割を明らかにしてほしい。整理してほしい。</p> <p>市長や担当部局の話と一緒に困る。議会の役割がわからない。市長が提案してきた議案をこのようにただし、こんな意見が市からあり、このような結果になったとの経緯も教えてほしい。</p> <p>A:いろいろ検討してきた。市民が主役のまちづくりを進めている。</p> <p>Q: 参加者が少ない。どのように総括するのか。PR、働きかけ、若者、女性、どうしたら参加が増えるのか。回数、場所、ターゲットなど工夫が必要である。</p> <p>A:今回は、選挙後初めての開催であるので、今後検討したい。</p> <p>Q: 坂口地区でデマンド交通の試験運行が始まったと聞かすが、今立地区にはいつになるのか。ニーズがある。自動車を自分で運転できなくなる日が近い。早く実施していただきたい。</p> <p>A:令和5年に坂口地区で色々調べて全市に広げていきたい。スピード感をもってあたりたい。</p> <p>2班</p> <p>Q:国・県・市から総額2億円を超えるトマト栽培への補助事業がある。市からは4千数百万円の助成金が支出されている。6年経過しても赤字を出し続けている事業に税金を出し続けるのか。</p>
--	---

<p>(3班)</p> <p>進行:三田村輝士</p> <p>記録:桶谷耕一</p>	<p>A:農業に詳しい議員を中心に調査、追求していきたい。</p> <p>Q:越前市には、安心して生まれるまち、安心して死ぬるまちになって欲しい。原発から30Km圏内にある越前市での原子力防災計画はどうなっているのか。防災マニュアルの中味を市民皆で共有する必要があるのではないか。</p> <p>A:国の原子力に対する政策の転換があった。危機管理として大事なことなので検討する。</p> <p>Q:服部川の河川改修により、町内に架かっている橋が撤去され、移動に支障をきたすことが目に見えている。町内での話し合いもほとんどされず困惑している。</p> <p>A:河川改修は県の事業であり、橋撤去に関して率先して動くことは出来ない。町の自治に直接口を挟むこともできない。しかし、ご指摘のように地域住民の生活に支障が出そうなことなので、まず現状を確認し、その後慎重に検討に入りたい。</p> <p>Q:新任民生委員として、若者の引きこもり対処に悩んでいる。どこまで行政に頼ってもいいのか。</p> <p>A:まずは行政側と情報の共有をしていただきたい。市庁舎2階福祉相談窓口で相談できる。必要な援助を受けられるよう、担当課に案内する。</p> <p>Q:大きな福祉バスを空で動かすのではなく、小さな車でいいので、街中を細かく動いてほしい。また、その政策を早急に始めてほしい。</p> <p>A:今まで以上に、自治振興会内での話し合い、助け合いが重要になってくる。議会としてなるべく早く、市内全域でのオンデマンド交通実現にむけて実証実験結果を参考に話し合いを進めていきたい。</p> <p>Q:入浴施設がない寂れた町になってしまった。今寿苑の風呂も壊されてしまった。大衆浴場を作ってもらいたい。</p> <p>A:旧今立地区だけでなく、旧武生地区でも同じような状態である。市の施設は減ることはあっても、増えることがない。</p> <p>3班</p> <p>Q:子育てはいいが結婚しない人が多い。未婚の人の出会いの場を作ってほしい。企業や組合などに呼び掛けて、土曜日や日曜日に出会いの場を作ってはどうか。会社、企業が後押しする仕組みを作ってほしい。</p> <p>A:出会いの場はあるが、青年団などでの出会いの場がなくなっている。また、仕事優先で会社の仕事オンリーになっている。社会や会社の環境、仕組みを変えていく必要がある。</p> <p>企業が給料の底上げをするのも大事である。</p> <p>福井県が実施している「ふくい婚活サポートセンター」の事業でマッチングシステムがあり利用するには、登録料がかかる。越前市ではその半額を支援している。</p>
--	---

Q:不妊治療の応援をしてほしい。治療に行くとかかなりの高額になる。何らかの助成を増やしてほしい。

A:福井県の不妊治療費助成制度があり、自己負担額など県の制度を超えた場合に支援する制度を作っている。

Q:施設の指定管理者の指定について、「武生中央公園総合体育館、庭球場及び多目的広場(人工芝コート)並びに越前市武道館」の管理者がアシックスの子会社になったが、越前市スポーツ協会が選定されなかった理由は何か。

A:市スポーツ協会とアシックス子会社の2社から応募があった。12月議会で多くの議論をした。評価点の評価は5項目あり、各点数の合計点で決まる。地元の市スポーツ協会が選定されなかったことにより、市民のスポーツ離れに繋がらないか、議会の議論の中で委託料が高いため、安くなるかも含めて今後とも注視していく。

Q:経済的な支援と子供が増えることとは、関係に根拠がない。お金だけ使っても効果は出ない。効果のないお金を使い続けている。お金を考えずに子どもが増える方法を考えてはどうか。

地方でも考えて、方針を見つけてはどうか。

A:国の制度であるが、ばら撒きはよろしくない。

Q:新幹線の駅前整備の件について、新聞等の報道だけ見るとほぼ決定したような報道がされているが、詳しく教えてほしい。

A:今、駅前の開発に手を挙げてるのは、福井村田製作所で、研究棟と工場を作りたいと申し込んでいる。地元地権者には、駅前に工場は要らないと思っている人もいる。核となる施設を先行して造ってもらえば、順番に整備される。ホテルなどが出来て来るだろうと考えている。

Q:村国山のトンネル整備の計画があるが、現在の状況は。

A:新駅と中心市街地との連絡道路として効果があるが、費用対効果を考えて進めなくてはいけない。新駅とのアクセスは、他の方法も協議していく。

Q:三里山のトンネルの計画もあるが、現在はどうなっているのか。

A:現在、要望として受けている。

Q:国道417号の整備で、冠山トンネルの整備が完了し、来年開通されれば、中京から多くの観光客が越前市に訪れる。観光客の受け入れをどう考えているのか。市の動きが、見えない。

A:越前市の観光誘客については、新幹線開通と含めて、推進していく。

Q:独居高齢者の支援について、75歳以上が高齢者と言われた。現在、独居であるが、見守りや支援が届かない。国の生活困窮者支援が本当に困っている人に届いていない。非課税世帯でも、財産や預貯金がある人には、支援が必要ないのではないか。

	<p>A:国は非課税しか区分が出来ない、国ができないことを市がやるべきだと思っている。</p> <p>Q:地域の見守りをやっていた。市との連携が足りないのではないか。町内でも母子家庭がいる、訪問も市と一緒にいくとよいのでは。</p> <p>A:民生委員に任せきりにせず、地域との連携や情報共有をしていくようにする。</p>
--	---

令和 5年 2月17日

越前市議会議長 殿

第2班 班長 清水一徳